

令和5年度東北地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会
議事概要

1. 日 時 令和 6年 3月18日 (月) 14:00～15:30
2. 場 所 東北地方整備局 大会議室
3. 出席者 委員長 飛田 善雄 東北学院大学名誉教授
委 員 赤石 雅英 公認会計士・税理士
委 員 真田 昌行 弁護士
4. 議 事 ・令和5年度
東北地方整備局コンプライアンス報告書 (案) について
・発注者綱紀保持規程改正 (案) について
5. 各委員会からの意見・質問

【意見】

- ・東北地方整備局コンプライアンス推進計画に基づき、やるべきことは適切に実施されている。
- ・次期計画に向けて、労働時間の管理や障害者雇用に関する合理的配慮など、どこまでを範囲とするかということも今後の課題としてあるのではないか。
- ・世代間のギャップはあると思うが、若手職員にはコンプライアンスの重要性や困った時の対応、誠実さの重要性について、丁寧に教育していくことが大切。
- ・上司が、部下職員の話に耳を傾けることが重要であり、より強固な信頼関係構築のため、機微を捉えたコミュニケーションに取り組むことをお願いしたい。

【質疑応答】

- ◆ Q 1 仮に不祥事が発生した場合の対応はどのようになるのか。
 - A 1 職員の不祥事が発生した場合は、事実関係の調査を行い、非違行為が明らかになれば処分となる。処分の公表にあたっては、人事院が定める公表指針に則って対応することになる。

- ◆ Q 2 発注者綱紀保持規程の改正（案）において、「又は」や「若しくは」は平仮名で表記した方がわかりやすいのではないかと思うが、書き方に関する規定等はあるのか。
 - A 2 法令における漢字使用等に係る政府のルールに従って、漢字表記としている。

- ◆ Q 3 報告書（案）において、実施主体が不明確な部分がある。公表する報告書は、委員の意見を反映し、修正してもらいたいが如何か。
 - A 3 本日のご指摘を踏まえた所要の修正を加え、より丁寧な報告書とさせていただきます。

6. 整備局からの発言

本日は大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。
委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、コンプライアンスの取組について、実効性を高めるために、より良く改善してまいります。